

# 人間裁判 元裁判官の手記



朝日訴訟東京地裁判決50周年記念

NPO法人朝日訴訟の会

「生存権」の意義と存在を  
あらためて問う

人間裁判—元裁判官の手記

今年ちょうど朝日訴訟第一審判決（1950.10.19）から50周年の記念すべき年にあたります。その判決文を書かれた元裁判官（小中信幸氏）が、当時の思い出や判決内容の意味について論文を寄せてくださり、これをパンフレットとして発行（写真/A5判・24ページ）しました。

著者の小中信幸先生（現在は東京で弁護士として活躍）は、この論文のなかで「憲法25条の『生存権』の精神と意義を、社会的弱者の立場にたって、あらためてよく考えてみる必要があるのではないか」と問いかけています。

この論文が広く読まれ、普及されることで、いま全国でたたかわれている第2の朝日訴訟ともいわれる「生存権裁判」をはじめとした憲法25条を守るたたかいが大きく盛り上がることを願っています。どうか、広くご活用ください。ご注文は朝日訴訟の会まで。

1冊＝200円（5部以上＝100円）

ご注文は電話  
かFAXで

NPO法人朝日訴訟の会

岡山市北区下伊福西町1-53(TEL=086-255-1299 FAX=086-255-8060)